

# みのり



令和4年11月30日 発行者 新島 邦彦

## 〈 読書活動が子どもたちに与える効果 〉

令和3年8月に、国立青少年教育振興機構青少年教育研究センターが発表した「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究」によれば、結果のポイントとして、以下の5点が挙げられています。

- ①子どもの頃の読書量が多い人は、意識・非認知能力と認知機能が高い傾向がある。
- ②興味・関心にあわせた読書経験が多い人ほど、小中高を通じた読書量が多い傾向にある。
- ③年代に関係なく、本（紙媒体）を読まない人が増えている（平成25年と平成30年を比較して）。
- ④一方で、スマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスを使った読書は増えている。
- ⑤読書のツールに関係なく、読書している人はしていない人よりも意識・非認知能力が高い傾向があるが、本（紙媒体）で読書している人の意識・非認知能力は最も高い傾向がある。

（詳細は、<https://www.niye.go.jp/research/summary/r3/dokusyo.htm>）

非認知能力とは、読み書き・計算などの数値では測れない能力をさします。大きく分けて、自尊心、自己肯定感、自立心、自制心、自信などの「自分に関する力」。そして、一般的には、社会性と呼ばれる、協調性、共感する力、思いやり、社交性、道徳性などの「人と関わる力」です（岩手県医師会より）。まさに、現代を生きる子どもたちに求められている力です。

秋の読書週間は過ぎましたが、過日出されました、図書館だよりの「読書週間特別号」に掲載された先生方のおすすめ本や12月の図書館だよりのおすすめ本などを親子で手に取っていただき、さらに心の栄養を蓄えていただくのもよいと思います。

先日、お子さんが「夢カード」を持ち帰りました。すでに、ご家族で、カードをもとに将来について語り合ったことと思います。保護者が幼い頃に描いていた将来の夢などもお子さんにお話しになったでしょうか。

カード作成のねらいは、子どもたちに、自分の好きなことや得意なことに気づかせ、それを伸ばそうとする意欲を喚起したり、将来に向けての夢や希望をもたせ育んだりすることです。

これからも保護者・地域の皆様のお力添えをいただきながら、子どもたち自らが自分の将来への道を拓いていけるよう、学校でも取組を進めてまいります。

## 〈12月の主な行事予定〉

1日(木) ・6年生租税教室	15日(木) ・読み聞かせ
2日(金) ・事務処理日 (B5 14:30 下校)	16日(金) ・学校評価アンケートメ切(児童・保護者)、3年生人権教室
5日(月) ・委員会	20日(火) ・朝会 (表彰)
6日(火) ・事務処理日 (B5 14:30 下校)	21日(水) ・大掃除
8日(木) ・B校時、集金日	22日(木) ・児童集会 (保健委員会発表)
9日(金) ・学校評価アンケート配布(児童・保護者)、4年生館林美術館訪問授業	23日(金) ・第2学期終業式

〈「わたらせ見守り隊」青少年顕彰受賞〉

11月5日(土)三の丸芸術ホールにて、令和4年度館林市青少年顕彰表彰式が行われ、「わたらせ見守り隊」が、ボランティア団体の部で、表彰されました。

わたらせ見守り隊の皆様には、長年にわたって本校児童のために、見守り活動を行っていただいております。心より感謝申し上げますとともに、今後とも、どうぞ、よろしくお願いいたします。



〔2年生「まちたんけん」〕

1学期の活動に続き、2学期もまちたんけんを行い、地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを考えたり、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることを学んだりする取組を行いました。



〔わたらせ交流会〕

11月6日(日)に行われた「わたらせ交流会」では、5年生が、本校を代表して“九小米”の販売体験を行いました。予定したお米は、販売開始からおよそ30分で売り切れとなるほどの大盛況でした。

本校のたくさんの児童が、ご家族や友だちと訪れ、楽しんでいる姿にふれ、このような地域の取組は子どもたちの成長に欠かせないな、とあらためて感じました。



〔おさらい塾を開設するために必要なことは〕

11月17日(木)、第3回学校運営協議会が行われました。今回は、第2回の委員・教職員・児童による熟議で出された「おさらい塾」について、その具現化を図るために、委員の皆様にも熟議をしていただきました。概要は以下の通りです。地域の皆様や保護者等のお力添えをいただき、何とか実現させたいと考えております。

【活動内容】○自学・自習(宿題や漢字・計算に取り組む)、英語やパソコン、農業などの体験学習、「放課後や土日に、保育園児との交流活動」

【支援・援助者】○かかわってみたいという地域の方、保護者等

【対象】○1～6年の希望者

【時間】○5時間目終了後から午後5時くらいまで

【場所】○学校の学習室、公民館

※支援・援助者は、指導ではなく、見守る・支える等の立場でかかわっていただきます。

さわやか あいさつ こころの えがお